

「RADIOISOTOPES」誌 投稿 規定

2011年10月 1 日一部改定

1. 目的

本誌は1952年の創刊以来、国内外の研究者による放射性及び安定同位体、放射線にかかわる論文発表及び学術資料提供の場として、学術研究の推進に寄与することを目的としている。

2. 研究論文の対象分野

アイソトープ及び放射線にかかわる次の対象分野に属する基礎から応用に至る学術論文とする。

物理、化学、放射線化学、工学、生化学、生物学、放射線生物学、農学、医学、薬学、考古学、放射線測定、放射線関係機器（測定装置、線源、照射装置、分析機器、利用機器）、加速器、分析、環境、放射線防護・安全、放射線管理、安全取扱、放射性廃棄物、その他

3. 投稿資格

アイソトープ・放射線にかかわる広範な研究成果の発表の場を提供するため、会員外の投稿も受け付ける。

4. 投稿論文等の種類、基準、言語

投稿論文等の種類は、原著、ノート、技術報告、速報、資料及びコメントとし、それぞれ次の基準に適合するものとする。

原 著：独創性のある結論の明確な論文。

ノ ー ト：独創的ではあるが断片的な研究で、研究方法、操作、技術、装置の改良、新しい試みあるいは応用などに関し、簡単に表現したもの。

技術報告：既製の装置・製品・試薬などの新しい使用経験・評価など実用価値のある内容を簡潔にまとめたもの。

速 報：内容が独創的で重要な発見又は結論を含み、他に優先して掲載する価値があると編集委員会で認めたもの。この詳細は後日原著として投稿することができる。

資 料：研究・技術に関する参考資料及び解説・調査報告など。

コメント：本誌に最近1年以内に掲載された論文に対する意見、コメントなど。コメントが他の著者の論文にかかわる場合、編集委員長は通常それらの著者に回答を依頼する。

投稿論文は和文又は英文とする。

5. 論文の投稿

- (1) 論文は未発表のものに限る。同一の内容で他誌に既に掲載された論文又は投稿中の論文の本誌への投稿は認めない。なお、本誌への掲載後、二重投稿が判明した場合は、当該論文の取消しを本誌において公表する。
- (2) 論文の執筆は、本「投稿規定」及び「執筆上の注意」に準拠すること（別表参照）。これらに準拠した時点で原稿を受理する。
- (3) 論文は、正1部・副1部の合計2部とし、所定の「投稿申込書」及び「投稿票」を付す。
- (4) 受理日は論文が当協会に到着した日とする。
- (5) 修正論文においては、修正論文の提出が編集委員会より返送された日から1カ月を超えた場合、又は大幅に修正された場合は、修正論文の到着の日をもって受理日とすることがある。
- (6) 修正論文の提出が編集委員会より返送された日から1年を超えた場合は、受理は「取り消し」となる。また、著者都合により「取り下げ」る場合は、その旨著者が編集委員会まで連絡する。「取り消し」又は「取り下げ」た論文が再度投稿された場合は、新規投稿論文として扱う。
- (7) 査読終了後、最終原稿を文章ファイルに保存した電子媒体を編集委員会宛に送付する。
なお、本誌印刷用に使用した最終原稿（図表を含む）は原則として返却しない。

6. 論文審査

- (1) 投稿論文は、内容について査読者による審査を行う。
- (2) 編集委員会は、一部修正により掲載の可能性のある論文に対し、必要に応じて意見を付して投稿者に修正を求めることがある。なお、用語並びに体裁統一のため、原文の論旨を変えない範囲で修文、削除を行うことがある。
- (3) 原稿の採否は、審査意見などに基き編集委員会が決定する。
- (4) 編集委員会からの審査意見に対する著者の反論・意見を受け付ける。

7. 論文の掲載媒体

掲載を決定した論文は印刷物である「RADIOISOTOPES」誌及びWebサイトの“J-STAGE”(運営：科学技術振興機構)に掲載される。

8. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、日本アイソトープ協会に帰属する。なお、本誌に投稿中の論文又は掲載された論文と同一の内容を含む原稿を他誌に掲載する場合は、編集委員会の承認を必要とする。

9. 論文訂正等

本誌掲載後の論文の訂正、追加などは、編集委員会が認めたもののみ掲載する。

10. カラー印刷、校正、別刷等

著者の希望により、カラー印刷をすることができる。ただし、別に定める料金を著者が負担する。

著者校正は初校のみとする。校正刷は受取り後2日以内に校正のうえ、書留速達便又は宅配便で返送する。

掲載論文には、PDFファイルを進呈する。別刷を希望する場合は、30部まで無料とし、それを超える部数は別に定める料金を著者が負担する。

11. 論文奨励賞

原則として協会会員であって、論文受理日において36歳未満（国籍を問わない）の者が対象論文を投稿した場合、応募できる（詳細は「RADIOISOTOPES誌論文奨励賞」要綱参照）。

12. 事務局（論文等の送付及び連絡先）

〒113-8941 東京都文京区本駒込二丁目28番45号

（公社）日本アイソトープ協会

RADIOISOTOPES編集委員会

（論文の送付に際しては、封筒の表に「RI論文」と朱書し、必ず簡易書留又は送付履歴の残る宅配便等を利用すること。）

TEL：03-5395-8082 FAX：03-5395-8053

E-mail：radioisotopes@jrias.or.jp

表1 原稿の長さ と 要 旨

論文の種類	刷上りのページ数	原稿の長さ		
		本文（図表を含む）	英文要旨	和文要旨
原 著	12ページ以内	和 文：22枚以内	200語以内	200字以内
		英 文：6,600語以内		不要
ノ ー ト	6ページ以内	和 文：10枚以内	同 上	200字以内
		英 文：3,000語以内		不要
技 術 報 告	6ページ以内	和 文：10枚以内	150語以内	200字以内
		英 文：3,000語以内		不要
速 報	4ページ以内	和 文：7枚以内	同 上	200字以内
		英 文：2,100語以内		不要
資 料	14ページ以内	和 文：27枚以内	同 上	200字以内
		英 文：8,100語以内		不要
コ メ ン ト	1ページ以内	和 文：1,400字以内		
		英 文：500語以内		

表2 追加別刷料金

50部	5,250円
100部	10,500円
150部	15,750円
以降50部単位	5,250円増

表3 カラー印刷料金

1 頁あたり	42,000円
--------	---------

（税込）

注 1) 点線上段は和文、下段は英文で投稿した場合。分割されていない場合は共通。

2) 原稿1枚は21字×40行（840字）とする。刷上り1ページは原稿2枚分に相当する。

執筆上の注意

- (1) 所定の「投稿票」に、表題、キー・ワード、著者名その他所定事項を記入すること。なお、表題、キー・ワードは査読終了後の編集委員会にて変更することがある。
- (2) 要旨は別紙とし、表題、著者名、所属を明記すること。
- (3) 作成する原稿の書式は、A4サイズ、21字×40行とし、文字の大きさを10ポイント程度とすること。余白は、上下20mm、左30mm、右90mm程度とすること。
- (4) 英文原稿の場合、行末の単語にハイフンを使用せず、必ずワードラップを行うこと。
- (5) 査読終了後に郵送する電子媒体には、使用したコンピュータの機種名又はソフト名を必ず記載すること。また、可能ならば電子媒体にテキスト形式の文書ファイルもあわせて保存しておくこと。
- (6) 和文原稿は文化庁の「公用文の書き表し方の基準（資料集）」により、平がなまじり口語体とする。用語はJIS用語及び各学会制定の用語を用い、翻訳不能の学術語、日本語化しない固有名詞に限り原語（活字体で明瞭に）のまま用いる。数字はアラビア数字を用いること。
- (7) キー・ワードは論文の内容を的確に表現しうる3～10語程度の単語もしくは句を選ぶ。英語で名詞単数形とし、論文中の術語を用いる。英文要旨のある論文はできるだけ表題と英文要旨から、その他の論文は表題と本文から選ぶ。できるだけ限定された意味をもつ語又は句を選ぶ。原則として、略語、記号、元素記号は用いない。当然すぎるために選定からもれるキー・ワードのないように注意する。
なお、キー・ワードをつなぐと、簡単な要旨となるよう配慮する。
- (8) 単位はSI単位を使用すること。例えばCi, rad, remでなくBq, Gy, Svを使用する。
- (9) 本文の大見出し、中見出し、小見出しはpoint systemとし、1., 1.1, 1.1.1, …などと書くこと。
- (10) 核種の質量数は⁶⁰Co, ¹³¹Iのように元素記号の左肩に付すること。
- (11) 原図及び写真は、原則としてそのまま版下又は画像データとして使用できるように著者が作成すること。また、必ず1図を1葉（1ファイル）として作成すること。
- (12) 原図は、つぎのいずれかの印刷仕上り寸法の2倍の大きさに書くこと。この場合、線の太さ及び文字の大きさをよく考慮すること。また、図の印刷仕上り寸法の選択にあたっては図の複雑さの程度を十分考慮して、不必要な大きさを選ばないこと。

図の印刷仕上り寸法		
横	6.5 cm 以内	14.5 cm 以内
縦	18 cm 以内	

注1：いずれも縦・横軸その他図中の説明の文字を含む。

2：横6.5 cm以内、縦約8 cmの図1枚が原稿0.5枚
——英文約150words(刷上り¼ページ)に相当する。

- (13) 図表の説明はすべて英文（和文の「資料」、「総説」、「講座」を除く）で書くこと。また、各葉には表題、著者名を記入すること。
- (14) 図の挿入箇所を原稿用紙の右欄外に指定すること。
- (15) 引用文献は番号に片かっこを付して本文の右肩につけること。
- (16) 引用文献はつぎの形式で原稿の最後に一括すること。ただし、文献のタイトル記載については著者の判断に任せる。
〔雑 誌〕 著者名、タイトル、雑誌名、巻数、ページ（西暦発行年）
(例)
1) 八幡 崇, 橋本哲夫, 多重パルス時間間隔解析 (MTA) 法の理論的なアプローチと壊変系列毎の微量放射性核種の弁別定量への適用, *RADIO-ISOTOPES*, **56**, 359-369 (2007)
〔単行本〕 著者名、書名、ページ、発行所、発行地（西暦発行年）
(例)
1) Carroll, J. and Lerche, L., *Sedimentary Processes: Quantification Using Radionuclides*, pp. 72-75, Elsevier Science, Oxford (2003)
なお、以下の点に気をつけること。
(i) 著者名は全員を記すこと。
(ii) ページ数は最初と最後のページをハイフンで結んで示す。
- (17) 文献でない備考、注などは、* **を右肩につけ、説明を脚注とし、その原稿用紙の下部に書くこと。

………… J-STAGEでの一部公開について ……………

本誌では、当協会と独立行政法人科学技術振興機構 (JST) との協力により、同機構の開発による科学技術情報発信・流通総合システム (J-STAGE) 上で論文を公開することといたしました。非会員の方でもタイトル、著者名・所属、要旨、キー・ワード（英語）はweb上で閲覧することができます。なお、定期購読者の方は購読者コード及びパスワードを入力することにより全文が閲覧できます。